

あまから手帖2025年12月号「**鮭。**」を11月21日、発売致します。

2025年11月



2年ぶりとなる「鮭」特集。今号は隅から隅まで“鮭愛”にあふれた1冊です。

巻頭では東京の名店で修業した職人が、故郷である京都でひらいた新店の話をどこよりも早くお届け。旬な情報に続くのはラズウェル細木先生による漫画エッセイ、あまからライター陣による推し寿司の紹介、少なくなりつつある大阪寿司文化を残す店の物語。明石や和歌山など遠出&郷土の寿司に触れる味わい深い企画や、年末に訪れたい新店ネタも目白押し。1年頑張った自分へのご褒美に。町の寿司店へ繰り出そう！

<特集構成>

■鮭職人の一步を京都で踏み出す 「ちさき」のはじまり。

■鰻谷発祥「じねん」禁断の味。I♡うなぎバター

■いつでもあるから愛おしい 推し寿司、町のすし。

■まちごと、まるごと。すし処、明石へ。

■そろそろ醤油をすすりに行きますか ハシゴ酒の途中にふと立ち寄る寿司のこと。

■持って帰りたい玉手箱。手土産鮭。

■「深江 鮭 そうごろう」は時を超えて。ワールドワイドな鮭職人の饒舌な人生。

■いつまでも続いてほしい味。大阪寿司屋物語

■なれずし、早寿司、餅鯉。和歌山すし奇譚

■町へ出て、さすしせそ？ 新しい鮨ネタ、陸

■百人百様、店の顔 暖簾は揺れる。

<連載>

- 作家・町田 康の「食にかまけず」
- 写真家・長野陽一の「あま、から」
- 料理研究家・冷水希三子の「からから料理帖」
- マスターソムリエ・岡 昌治の「日本ワイン、ようわからん」
- フードコラムニスト・門上武司の「関西『揚げもん』研究所」
- ミルクボーイ・駒場 孝の「こまから手帖」

ほか

<媒体概要>

「あまから手帖」は関西の食文化・情報を伝える雑誌として 30 代後半～50 代の方を中心に
ご好評いただいております。

誌名：あまから手帖 発売日：毎月 23 日 発行部数：10 万部

販売方法：書店・駅売店・コンビニエンスストア（一部）

販売地域：関西全域および全国の主要都市（一部） 価格：880 円（予価）

※本誌に関するお問合せは下記までお願いできましたら幸いです。

※各種取材、メディア出演にもご対応致します。